

# 社協だより

きたいばらき



No. 177

2026年  
6月号

● あいさつから始まる北茨城物語 ●

## 新しい場所で、 これからも地域とともに



新しい地域福祉交流センターが完成し、社会福祉協議会も6月8日(月)に移転します。これからも地域のみなさまの身近な存在として、支え合いの活動を進めてまいります。どうぞお気軽にお立ち寄りください。

北茨城市社会福祉協議会

検索



チャンネル登録をお願いします。



@KITAIBA.SHAKYOU

Instagram

北茨城市社会福祉協議会



Facebook



“いいね!”お待ちしております

<https://www.facebook.com/kitaibashakyo/>

社協だよりの一部には、赤い羽根共同募金の配分金が使われています。

# 令和8年度 事業計画と予算



北茨城市社協では、「誰もが安心して暮らせるわたしたちのまち北茨城」の実現に向けて、地域のみなさん・行政・関係機関と連携しながら様々な事業に取り組み、「ひとりぼっち」にさせない地域づくりをすすめていきます。



## ① 法人運営事業

- 理事会・評議員会の適正な開催
- 職員の資質向上を図る各種研修会への派遣
- 社協会員募集

## ② 地域福祉推進事業

- 地域福祉に関する事業
  - ・地域ケアシステム推進事業
  - ・日常生活自立支援事業
  - ・社会福祉大会及び地域福祉を考える集いの開催
  - ・赤い羽根共同募金・歳末たすけあい配分金事業
- 高齢者に関する事業
  - ・生きがい・健康づくりの促進  
(高齢者クラブ、ふれあいサロン)
  - ・配食サービス事業
  - ・老人福祉センター「ライト」の運営
  - ・在宅介護支援センター事業
- 児童・子育てに関する事業
  - ・ファミリー・サポート・センター事業
  - ・中郷子どもの家の運営
- ボランティアに関する事業
  - ・福祉教育の推進(福祉機器の貸し出し、講師派遣)
  - ・ボランティア市民活動の普及推進
  - ・災害・防災などのボランティアの育成
  - ・ボランティアに関する講座の開催

## ③ 介護保険事業

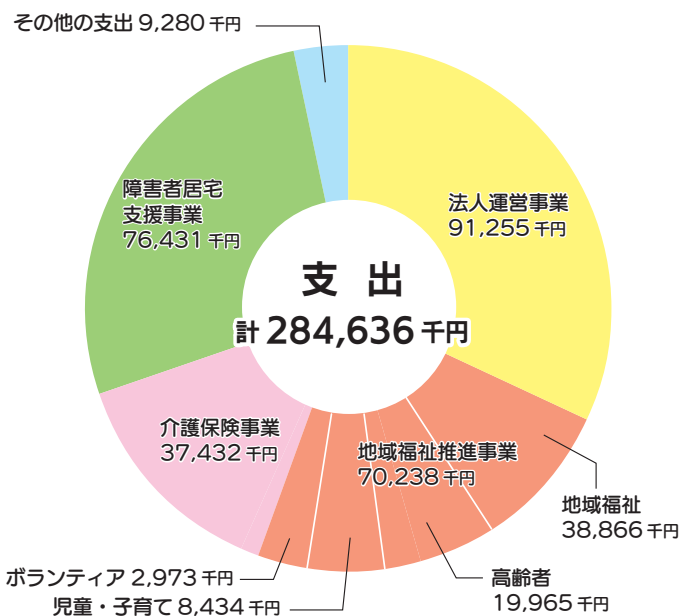
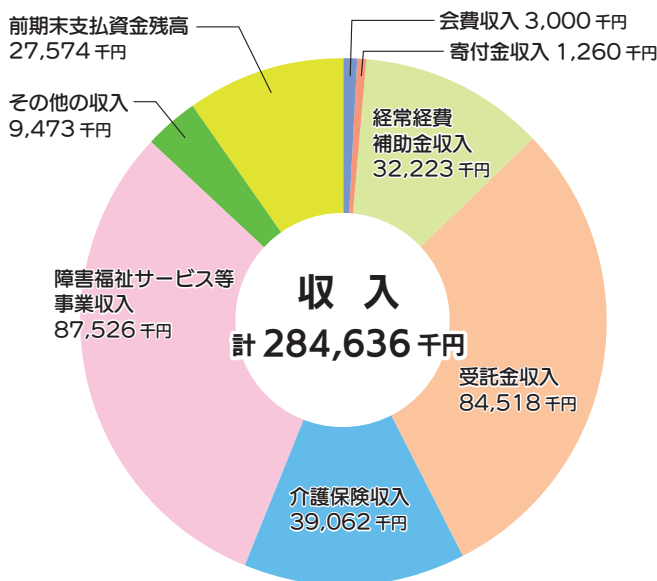
- 通所介護事業の運営
- 居宅介護支援事業の運営

## ④ 障害者居宅支援事業

- 相談支援事業の運営
- 生活支援事業(サークルJ、ピアトーク)
- 基準該当障害サービス事業の運営
- 心身障害者第一・第二センターの運営

## 社会福祉協議会(社協)とは?

全国の都道府県・市区町村に設置された、非営利の民間組織で、地域住民や社会福祉関係者の参加により、地域福祉の推進を図ることを目的としています。社協は、福祉サービスや相談活動、ボランティア活動の支援、共同募金運動への協力など、様々な活動を通じて地域福祉の増進に努めています。



# 社協支部 トピックス

## 全支部

### ～7支部の活動報告会を実施～

3月17日(火)、北茨城市商工会館にて社協支部活動報告会を実施しました。報告会では、各支部長が令和7年度に活動した内容を、プレゼンテーション形式で発表しました。地域の特色や力を入れた活動はさまざまあり、参加者からは興味深い反応が多く見られました。

終盤にはパネルディスカッションを行い、学校・地域・高齢者との関わりについて、各支部がどのようにアプローチしているか話し合われました。サロン活動から活路を見出そうとしている支部や、普段の活動を通して関わりをつくっていく支部など、それぞれの思いについても話し合う良い機会となりました。



## 大津支部

### ～東日本大震災写真展開催～

3月7日(土)から12日(木)までの5日間、大津漁村センター（ポート大津）にて「あの日を忘れない」写真展を開催しました。

会場には震災当時の緊迫した様子を伝える写真をはじめ、地震発生時刻で止まったままの掛け時計、震災の記録をまとめた書籍などを展示しました。また、防災レシピとして停電時に卓上コンロとポリ袋のみでお米を炊く方法を実演しました。

開催中は市内外から多くの方が来場し、展示パネルを前に当時の経験を語り合う姿や、震災を知らない世代のお子様へ熱心に説明する親御さんの姿が見受けられ、世代を超えて記憶を繋ぐ貴重な機会となりました。



## 華川支部

### ～華川支部研修会開催～

3月7日(土)、華川公民館にて支部研修会が開催されました。

今年度は防災に関する研修で、華川地区16名の方が参加し、災害時に迫られる決断の分かれ道を体験する「クロスロードゲーム」を実施しました。このクロスロードゲームは、災害時に決断に苦慮するケースをYESかNOの2択で選択します。（避難所で3,000人の避難者に対し2,000食分の食料しかない状態で配布するかしないか、ペットを避難所に連れていくか置いていくかなど）

このゲームには正解がありませんので、自分が選択した回答と違う意見を聞いて、さまざまな考え方や価値観を共有したようでした。参加した方は、「こういう考え方もあるんだと感心した」「いざというときの予行演習ができた気がした」といった感想が聞かれました。





## 北茨城市高齢者クラブ連合会 主な事業報告



高齢者クラブは、仲間づくりを通して、生きがいと健康づくり、生活を豊かにする楽しい活動（スポーツ大会、サークル活動など）を行うとともに、その知識や経験を生かして、地域の諸団体と共同し、地域を豊かにする社会活動（世代間交流、見守り訪問、清掃ボランティアなど）に取り組む、地域を基盤とした自主的な組織です。

### 2/3・4 創作活動教室 ⊗ ⊕ (ハンドクリーム・リップづくり)



### 2/10 役員研修会 ⊗ (大洗町幕末と明治の博物館・めんたいパーク)



### 4/23 ⊕ 高齢者グラウンドゴルフ大会 in 華川スポーツパーク



- 第1位 大谷 美子
- 第2位 加藤 多聞
- 第3位 柴田 文弘
- 第4位 松岡富士子
- 第5位 松岡 哲男
- 第6位 鈴木 勝利  
(敬称略)

※上位6名は10月に行われる茨城ねんりんスポーツ大会へ出場予定です。

■ 問い合わせ先 北茨城市高齢者クラブ連合会事務局（北茨城市社会福祉協議会事務所内）  
住所：北茨城市磯原町磯原 1612-38 【社協】 地域福祉係まで

## ちいすけイバラキ 介護助手養成講座を開催しました

3月13日(金)、北茨城市民ふれあいセンターにて介護助手養成講座を開催し、介護助手の役割や基礎知識について楽しく学びました。事業所との交流会では、現場の声を直接聞くことができ、参加者にとって理解を深める貴重な機会となりました。



### 介護助手って何？

介護専門職の助手や補助として介護現場をサポートする存在。施設内の清掃やシーツ交換、食事の準備や片付け、利用者の話し相手、送迎ドライバーなど、身体に触れないお仕事をします。



「ちいすけイバラキ」…茨城県社会福祉協議会とNPO法人ちいきの学校が協働し、“ちいすけ(介護助手)”を普及させる取り組みです。介護職員の負担軽減、それに伴い期待できるサービスの質の向上、また、地域の多様な働き方を創出することにより、介護人材確保に貢献し、茨城(ちいき)を元気にしていきます。

# 遊びにおいでよ♪ 中郷子どもの家

中郷子どもの家は、4月より日曜日も開館しております。

開館日 月曜日～金曜日・日曜日（祝日・年末年始は除く） 9:00～16:00



**お問い合わせ** ■ 中郷子どもの家 住所／中郷町石岡 814-1 ☎42-2183

※毎月季節飾りの制作や体を動かすイベント・講座などを行っています。

イベントカレンダーは本表紙にあるQRコード（Instagram、Facebook等）からご確認ください。



※磯原子どもの家は3月31日をもって閉館いたしました。  
8年間ありがとうございました！

## 第31回 令和8年度 小学生サマースクール 参加者募集のお知らせ！

サマースクールは、じぶんたちの住んでいる地域の「みんなで支えあう仕組み」と「災害が起こったときの備え」を学ぶ、夏休みだけの特別な授業です！

学校で勉強している「福祉と防災」を、「みて、体験して、考えて」、さらに知識を深めてみませんか？



○会 場 北茨城市老人福祉センター「ライト」  
華川町臼場 187-74

○内 容 福祉レクリエーションや車いす・入浴  
介助体験、防災グッズ制作や茨城県庁  
災害対策室の見学など

○期 日 令和8年7月30日（木）～31日（金）  
※両日とも日帰り・昼食付です

○参加者 市内小学生4・5・6年生 30名程度  
※応募者多数の場合は抽選となります

○参加費 500円

○申込み 各担任の先生までお申込み下さい  
学校締切 令和8年7月1日（水）

■ 問合せ 北茨城市社会福祉協議会 TEL：42-0782 FAX：42-7666 担当：地域福祉係まで



# ボランティアグループにインタビュー 第8回

市内で活動されているボランティアグループさんに、日頃の活動や知られざる逸話をインタビューするこの企画。第8回目は、中郷地区の「汐見ヶ丘ボランティアグループ」さんです。

## 問自己紹介をお願いします

答 汐見ヶ丘ボランティアグループといます。

## 問どのような活動をされているのですか

答 1～8丁目ごとに手分けして汐見ヶ丘に住むご高齢者の誕生日と敬老の日に、ティッシュケースとお手紙を添えて訪問しています。また、月に一度集まって来月訪問する方の確認やおしゃべりをしています。おかげさまで、かれこれ30年以上活動していますね。

## 問30年以上ですか！

答 設立したのが平成4年です。几帳面な方がいらっしゃったので、これまでの活動記録をとってあるんですよ。(活動記録や手作りの資料を見ながら) ほら、長い歴史がありますでしょう。

## 問とても丁寧に記録されていますね。設立のきっかけはなんですか

答 立ち上げの一人である佐川さんが、当時の北茨城養護学校でボランティアをしていた方と一緒に活動の機会があって、その際にボランティアをやりたいと相談したところ、(自分たちが住んでいる) 汐見ヶ丘で立ち上げてみたらと言われてもらったのがきっかけです。そこで、当時の地区内の民生委員さんや親しい方に声をかけて立ち上がりました。

とはいえ、ボランティアの経験がない人もいましたので、みんなで手探りしながら、時代に合わせて無理なくできる活動をしてきました。

## 問活動内容を変えつつも、いまでも続けているんですすごいことですよね！

答 私たちだけでは続けていけませんでしたよ。市ボラ連や社協の職員さんに助けられましたし、大津町の久保田さんにはボランティアのことで相談させていただいたりして本当にお世話になりました。多くの皆さんに支えていただいたからこそです。

## 問最後に、記事をご覧になっている皆さんに一言お願いします

答 私たちも歳を重ねてきて、グループとしていつまで活動できるかわからなくなってきました。長く活動してきましたので思い出がありますが、いつのタイミングで解散するかを考える時期なのかも思います。もし、私たちの想いやグループの歴史を引き継いでくれる方がいらっしゃったら、こんなに嬉しいことはないですね。

## 貴重なお話ありがとうございました



←これまでの活動記録やわらべ歌を記した帳面。すべて手書きで、とても丁寧な仕上がりです。右は、平成14年に発行していた「ボランティアだより」。こちらも手作りで、楽しみにしている方も多かったそう。



←平成12年ごろのグループ紹介記事。自治会での活動はもとより、市内のイベントや施設にも赴いてボランティアをされていました。長い活動の記録の、ほんの一部です。



## 車椅子・シルバーカーの貸し出しを行っています！

一時的に車椅子が必要な方に無料貸し出しを行っています。  
ご利用の際は事前にお電話にて「〇〇を借りたい」とご連絡下さい。

### 利用について

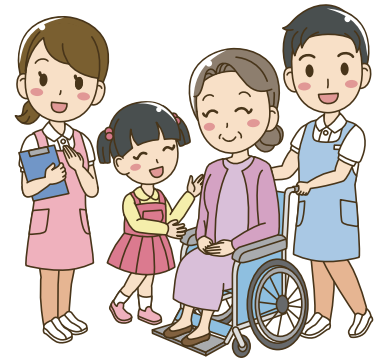
- 申請者：市内に在住の本人またはその家族、友人、福祉関係者など  
※本人確認を行いますので身分証明書をお持ちください。
- 料金：無料
- 貸出期間：必要日数(最長1カ月まで)
- 申請窓口：北茨城市社会福祉協議会  
☎ 42-0782

こんな時に  
ご利用ください。

- 通院の際の移動
- 家族や友人との旅行
- 急な怪我での短期間の利用

### 主な注意事項

- ①貸し出しの際には申請書に必要事項を記入していただきます。
- ②貸し出しをする車椅子は一般的なタイプのみとなります。
- ③転貸は厳禁とします。
- ④事情により貸出期間の延長を希望される方は、期間内に電話でご相談下さい。
- ⑤長期間(1カ月以上)必要とする方は、購入やレンタルに向けて各機関にご相談下さい。



※車椅子・シルバーカーの在庫には限りがございますので、あらかじめご了承ください。  
その他詳しい注意点につきましては、北茨城市社会福祉協議会ホームページをご覧ください。

## 日常生活自立支援事業 あなたのくらしを守るお手伝いをします！

認知症や障がい(知的障がい、精神障がい)などにより、判断能力が低下した方を対象に、福祉サービスの利用手続きを一人でを行うには不安のある方、お金の管理が一人では難しい方が利用できます。

※利用にあたっては、ご本人・北茨城市社会福祉協議会・茨城県社会福祉協議会の三者で契約を結びます。その後、通帳と印鑑をお預かりし支援が開始されます。相談・支援計画の作成・契約締結は無料です。

### ★お手伝いできる内容★

- ・福祉サービスの利用
- ・ふだん使うお金の出し入れや支払いの援助
- ・大切な書類のお預かり(通帳・印鑑・権利証など)

### ★ご利用にあたって★

- ・福祉サービスの利用援助や日常生活の金銭管理のお手伝い  
1時間当たり 1,500円
- ・書類等の預かりサービス 1カ月当たり 500円

■問い合わせ先 **社協** 地域福祉係 担当：会川



♡ 社協に寄せられた市民の善意 ♡ (令和8年2月1日～4月30日)

次の方々より温かいご寄付がありました。寄付されました皆様のご趣旨に添うよう、各種の福祉事業費として使わせていただいております。ここに紹介して厚くお礼申し上げます。

■ 物品寄付者芳名簿 (敬称略)

切手 (使用済み・未使用)・テレフォンカード・ハガキなど	
ひまわり荘	常磐共同印刷㈱
磯原ウレタン工業㈱	更生保護女性会
北茨城市民病院	松本 慎平
飯村 睦美	NOK (株)北茨城事業場
退職公務員連盟	ムラタ電機商会
松崎 雄一	佐藤 和彦
小林 明美	カネト商店 鈴木 泰一
北茨城リーディングサービス	病院ボランティア
多田 和豊 (雲雀会)	永柳工業㈱
中村 千佳子	(株)キタスイ総合設備
笹沼 節子	匿名 (7名)
(有)ホシ保険事務所	

そ の 他 (日用品・タオルなど)	
野口 陽子	常磐共同印刷㈱
井坂 英敏	face-up

■ 寄付者芳名簿 (敬称略)

氏 名	金 額 (円)
大関 修右	50,000
井坂 英敏	17,756
肥友会	14,081
加藤	10,000
サラヤ(株)関東工場	5,215
匿名 (9件)	18,486

プ ル タ ブ	
中郷町公民館 (3回)	多田 和豊 (雲雀会)
志賀 光代	山形 秋彦
佐藤 和彦 (2回)	汐見ヶ丘ボランティアグループ (2回)
計良 一颯・計良 仁 (2回)	笹沼 節子
足洗さざなみサロン	石岡サロン
田村 修吾	汐見ヶ丘寿楽会
沼田 ヤス子 (2回)	石岡なかよしクラブ
北茨城市退職公務員連盟 (2回)	常磐共同印刷㈱
熊田 マス子	実川 民子
飯村 睦美	根本 善三郎
柴田 良一	松本 慎平
上相田昭友会	安藤 卓也
高橋 光子	ムラタ電機商会
大日本鶴亀会	下相田ひまわりサロン
更生保護女性会	シオン・メリッサ美容室
松崎 雄一	佐藤 和彦
ようそろー・にんべん (2回)	神永 誠
重岩共栄会	黒澤 篤弘
リフレッシュ健康体操	鈴木 勝博
石崎 俊一・柳生 清治	小野 一二
鈴木 明	鈴木 康平
馬上工務店	梁瀬 晴斗
五十嵐	千葉 キイ子
小林 明美	(株)高山建設社員一同
北茨城リーディングサービス	カネト商店 鈴木 泰一
石岡なかよし会 沼田敏克	病院ボランティア
山下長寿会	匿名 (27名)
中妻寿会	

善 意 銀 行 ~物品寄付について~

善意銀行では、皆様の善意の気持ちを寄付金や物品としてお預かりし、支援を必要とする方や地域活動へつなぐ“善意の橋渡し”の活動を行っています。物品寄付では以下のものを受け付けております。

- ・使用済み切手・テレフォンカード
  - ・書き損じはがき・タオル類(未使用のもの)
  - ・食品(フードバンクで受けられるもの)※
- 皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

※詳細はお問い合わせください。

皆さまからご協力いただいた  
プルタブが白杖になりました！

皆さまから寄付していただいたプルタブで、白杖を購入することができました。購入した白杖は、市内の小中学生を対象とした福祉体験学習で活用させていただきます。

尚、プルタブのお預かりは令和8年3月31日で終了いたしました。長い間、ご協力をいただきありがとうございました。



編集・発行／問い合わせ・連絡先

社会福祉法人 北茨城市社会福祉協議会

〒319-1541 北茨城市磯原町磯原 1612-38  
(北茨城市複合防災・学校給食センター隣)  
TEL 0293-42-0782 / FAX 0293-42-7666  
E-mail : office@kitaiba-shakyo.jp



ホームページ

